

マイクロプロセッサベンチレーター7200a

ピューリタン・ベネット社製のマイクロプロセッサベンチレーター7200aの特徴は、使用患者回路のコンプライアンス測定及び、BTPS補正を自動制御する事で設定換気量を正確に患者へ供給できる事と、機能を後で追加できる点が従来の呼吸器とは違の大きな特徴になっています。オプション類も豊富に用意され今後要求が高まると予想される患者データーの処理機能を始め、パルスオキシメーター装備、メタボリックコンピュータ等の開発が進められています。

現在使用されているオプション類

1. DCI（患者データー処理機能）
2. RM（呼吸測定機能）
3. Flow-By（定常流）

新しくオプションとして7200aに取り付ける事ができる、患者モニターが登場しました。（写真参照）

この患者モニターには次の項目が表示されます。

1. 患者データー
2. アラーム状態
3. ベンチレーターセッティング
4. ++キーメニュー
5. EST
6. ウェーブフォーム（圧、フロー、プレッシャーボリューム、フローボリューム）

患者モニターは360度回転できる為遠くから患者データーの内容及びアラーム状態を把握する事ができます。

又、ウェーブフォームを使って気道抵抗の変化及び、呼吸の仕事量を知る事も可能です。

今年末には、従圧換気モードとして使用できるプレッシャーベンチレーションソフトウェア、7200aにパルスオキシメーターを装備させるソフトウェアも登場する予定です。

呼吸の仕事量を軽減できる事で最近話題になっているプレッシャーサポートは標準装備として7200aに取り付けられており、ウィーニング時の補助モードとして広く使用されています。



株式会社 アムコ
竹内 操